

## 議会報告会記録

【第 2 班】

( 1 / 4 )

開催日時	平成27年10月30日(金) 19時00分～20時45分	
開催場所	愛宕公民館	
参加人数	36人	
議会報告に対する質疑応答	質 問	回 答
	<p><b>【1部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛宕地区は道が細い場所があり火災が起きた時、車両が入ってこれるか心配。以前、火災時に消火栓が見つからず、小学校のプールの水を使わざるを得なかった。</li> <li>・自主防災の組織はできあがったが、防災倉庫の中身・使い方を知らないなどといった問題がある。また、ボランティアを集めることの難しさ、備品の更新にかかる費用など苦心している。</li> <li>・マイナンバー業務に係る臨時職員の雇用期間は。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の消防力を高める意味でも、過去の委員会で小型消防車の必要性は議論されている。また、今後の課題として認識しており、消火栓も同様である。</li> <li>・自主防災隊の備品については、消防本部や消防団と一緒に活動して周知させていく必要が考えられる。(その他、行政ではないので個別の事例、また個別の意見は控えさせてもらった。)</li> <li>・後日報告させていただく。 ※以下回答 平成27年度鈴鹿市一般会計補正予算(第2号)で計上した予算は、平成27年度末まで臨時職員を雇用するものである。平成28年度についても、当初予算より臨時職員を雇用する予算を計上する予定である。</li> </ul>

	質 問	回 答
議会報告に対する質疑応答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーについて、予約システムはネットだと明記しているがその環境のない人はどうするのか。また、個人番号カードに切り替えず、通知カードだけでもいいのか。</li>   <li>【2部：防災について】</li> <li>・防災ガールというネーミングについて、若者を連想させるが、実際のところは子育て世帯を対象にしているのでは。名称がおかしくないか。</li>   <li>・視察について詳細を聞きたい。何を見てきて学んだのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市は電話での対応も可能だと考えている。市に要望を伝えておく。また、カード変更の義務はなく、そのままが良い。</li>   <li>・ボランティア団体として全国的に防災ガールという組織があり、横の連携を図っていく意味で採用され、子育て世代の参加は1～2割である。これまで10数名の応募があり、今後はもっとアプローチしていく必要がある。</li>   <li>・8月17日から8名で、岸和田市や和歌山市に視察に行った。岸和田市では地域コミュニティの強さについて、和歌山市では地域防災について制定している基本条例について、参考になることを学んできた。議会、行政はもとより、一人一人の経験を生かしてもらい、その知恵、協力が必要となってくる。</li> </ul>

	質 問	回 答
議会報告に対する質疑応答	<ul style="list-style-type: none"><li>・児童数の変化や傾向はどうなっているのか。福祉も大切であるが、少子化の今、新しい命を授かるにはどうしたらいいのか。報告でも地方債で工事を行うなどであったが、高齢化が進んでいく中、税金を納める人が増えなければ、鈴鹿市は一体どうなっていくのか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもの数は平成 27 年で 29,488 人だが平成 40 年には約 23,000 人と将来的に減っていく。現在、公共施設の維持が課題となっており、人口減少の中、住民の分布に合わせて対応していかなければならない。</li><li>・「鈴鹿市総合計画 2023」を策定中であり、意見を集めている。ぜひ、想いを述べていただき、我々もしっかりチェックしていきたい。</li><li>・文教環境委員会でも「鈴鹿市に育ってよかった」と思えるシステム方策を形づくっていくため、委員会として要望していきたい。</li></ul>

参加者からの 意見・要望等	<p>・愛宕地区は密集地なので阪神大震災で起こったように火災を心配している。一時避難所として、現在指定している公園では狭いのではと考えている。</p>
	<p>・災害時に市を待っていても来ることはないだろう。市や議員に頼るのではなく、地域で議論を重ねてどのように行動するかを考えていくことが重要であるとする。(意見)</p>
	<p>・一人暮らしの高齢者から家具の転倒防止対策(事業)の感想を聞くと非常にありがたいとの声が聞こえる。今後もこの制度を続けてほしい。</p>
	<p>・防災ガールのネーミングについて、言葉尻にとられる必要はない。先日、防災訓練を行ったが、参加者を募るのが大変であった。子どもを大事に思っている世代が、取り組んでいかなければならないと思う。</p>
	<p>・視察の内容を市報などで周知すべきである。また、議員も救急救命について資格を持つことも必要ではないのか。</p>